



# がんばる ファーマー応援記

Vol.12

このコーナーは、町内でがんばっている農家を支援する農業委員の活動を紹介します。

地区担当農業委員

**井 上 一 雄 委 員**

**菱 喰 内  
平 山 貴 典 さ ん**

ンパニュラ等の花を作つていていました。

▼大変だと思うことはありますか。  
【平山さん】

ねぎの収穫には大変労力を使います。収穫に機械を使つている農家の方もいますが、うちは人力で

受け行っています。

今は、菱喰内で野菜農家を営んでいる平山貴典さんのお宅へ訪問し、お話を伺いました。平山さんは那須町認定農業者の会の会長も務められており、平成28年度には優良認定農業者表彰の優良賞を受賞されています。

▼初めに、平山さんのお宅の営農状況を教えてください。

【平山さん】

主な作物は那須の白美人ねぎです。ハウスねぎを約8a、露地ねぎを約100a作付けしています。他に水稻、レタス、ピール麦、色物ニンジン等を作っています。

出荷先はねぎを農協に、その他は直売所販売が中心です。人手は少ないので、協力し合いながらやっています。

▼いつ頃から作り始めたのですか。

【平山さん】

ねぎを作り始めたのは13年ほど前です。それまではリンドウやカ

としても頑張つていただきたいと思います。ねぎ農家には条件が厳しい那須町ですが、作物も綺麗にして素晴らしい感じました。お忙しい中取材に答えていただきありがとうございました。

▼これからどのような経営を考えていますか。  
【平山さん】

ねぎの通年出荷、出荷規模の拡大を図り新たな雇用を取り入れながら、直売所販売にも更に力を入れていきたいです。

ねぎにはかなり労力を使つていて、機械を導入して労働力の軽減や労働時間の短縮にも努めたいです。

平山さんのお宅では、ねぎ以外にも多種多様な作物を出荷しており、町内のサービスエリア等で直売所販売も行っています。最近では、地元農産物を販売している町内のホテルにお米や乾燥ねぎを下ろしております、手に取りやすいように小分けに販売されている物もあり、プレゼント用のものも販売しておりますので、ぜひご購入くださいとのことです。



販売用に出荷しているお米や乾燥野菜。最近では九州の方からも注文があったそうです。